

関東アコーディオン演奏交流会

第33回

実行委員会ニュース

1号

ホームページ <http://www.kanto-acco.jp>



QRコード

2021.3.30 発行
編集 広報部

開催日 **9月12日**（日）に決定！

「独奏部門」会場：北区滝野川会館を企画します。

昨年1年間は「第32回準備会号」としての発行でしたが、今号から第33回と改め、本号を「第33回1号」とします。（第32回は中止なので、空白の1年となります）

（2ページに関連記事）



目次

■議事録より…2～12P

■「Accordionon ♪ Accordionon お楽しみ Music Box2」…13～14P

■…スプリングコンサート 15P ■百万本のバラ…16P ■ホワイトボード…17～18P

2021 9 September

Sun Mon Tue Wed Thu Fri Sat

1 2 3 4
5 6 7 8 9 10 11
12 13 14 15 16 17 18
19 20 21 22 23 24 25
26 27 28 29 30

「第 33 回」

関東アコーディオン演奏交流会

開催日：9月12日（日）会場：北区滝野川会館

お知らせしている拡大実行委員会での話合いでお分かりのように、コロナ禍での感染防止の観点から「独奏部門」の開催に向けて準備をしていくこととなります。

☆募集要項は例年通り5月連休中に発送を予定しています。

拡大実行委員会（2021年3月のZoom会議）より 3月7日（日）19:00-21:00

参加者：池田 石橋 大田（審査事務局）宇野 岡田 小神 織田 乙津 川上

佐々木 佐藤 柴崎（審査事務局）田中 塚本 築山 東谷（アイウエオ順、敬称略）

拡大実行委員会（3月7日）より（敬称略）

築山（司会）・・・みなさん今晚は。今日、この後9時からJAAの会議もあるということで、短い時間ですけど始めます。

今日は大田先生、柴崎先生、佐藤将さんが参加しています。審査事務局からの話、佐藤将さんよりJAAからの提案もあります。まず皆さんの近況から手短かに話してください。

乙津・・・今日は、音楽センターのグレード試験とオーディションがあったのですが、南部教室からは誰も申し込まなかったので、21日の教室のコンサートに向けて午後1時から4時30分まで練習をしてきました。

東谷・・・千葉アコは、月に3回練習会があり、練習は土曜日ですが、第1、第3が全体練習（合奏の練習）で、第2土曜日は個人レッスン。短い時間ですけども1人30分ぐらい森先生の指導を受けています。二つ目は、去年はコロナ禍の中で実施できなかった、毎年開催していた「花とアコーディオンコンサート」を千葉市の花の美術館で今年は出来る限りやることで考えています。例年10月頃やるんですが、第1希望が11月7日（日）で、これから花の美術館側と交渉することになっています。あと、嬉しいニュースとして、長期休会中だった会員の和田さん（関東アコにも出られたタンゴの和田さん）ですが復帰されて、千葉アコの会員は現在10名です。

川上・・・今日行う予定だった埼玉アコーディオン協議会の会議は来週の14日に変更になりました。多分、内容は夏合宿の代わりになんかことをやるかという話合いになると思います。

塚本・・・横浜アコは、通常昼間から夜まで練習するところ、3月一杯は午後2時から5時まで3時間、教室とサークルの練習を受けています。4月からは夜も練習する元の形に戻そうと考えています。

織田・・・今日、音楽センターでグレード試験があったので、紙とマジックを持って行き、「関東アコ、9月12日（日）滝野川会館で今年は独奏です、是非参加を」って書いてきました。で、そこに居合わせた人が「緊張しちゃうから」って「私ここにイラスト描いてあげる」って、ねこがアコーディオンを弾いているイラストを描いてくれたので、それを貼りだして帰ってきました。常連さんからは、「あっ、やったあ」という声が聞こえてきました。

小神・・・土曜教室は、今日1人音楽センターのグレード試験受けました。中級I課で入選1位の成績だったという報告が入っていました。それから、5月29日（土）に音楽センターのホールを使って発表会を予定しています。午後4時ごろから開始できればいいかなと思っていますけれども、時間はま

だ未定です。

佐々木・・・55 (ゴーゴー) アコーディオンサークルです。本当なら来週 14 日の日曜日に今年初めての合奏練習を予定していたんですけども延期になりました。

55 は 5 人だけれど、みんな遠方から参加しているので、まだちょっと難しいねということで練習を見送りました。4 月には集まりたいねと言うところです。

小神・・・池田さんからさつき電話がありまして、いろいろ試すんだけど、みんなの画面は見えるけど音声が出ないので、何か調子が悪いので今日はあきらめてくださいと言っていました。(こちらの話は聞こえているの?) (聞こえているって合図している)

田中・・・中部金曜教室は、佐藤将さんも顔を出すと思いますけれども、音楽センターでオーディションが行われました。出演者だけの参加だったので我々は遠くから見守っているだけでした。

岡田・・・アコ研は 4 月 4 日の内部発表会に向けて柴崎先生の個人レッスンを受けています。3 月も緊急事態宣言中どうするかをネット上でやり取りしているけども、練習に行ける人は月 2 回行けるかなというところで、4 月 4 日に向けて皆さん頑張っています。それと 4 月 11 日がアコ研の総会ですが、新宿区は、いろいろなセンターがワクチンの接種会場になるということで、これから会場がもしかしたら全滅かもしれないという危機に今あります。

石橋・・・三多摩教室は、非常事態宣言が出ても細々とやっています、5 時半から始まって、8 時には会館を出なければいけないので、自分の個人レッスンが終わるとすぐ帰る、密にならないように気を付けています。だから個人レッスンは一人 17 分ですかね、で、いま 8 人ですが、みなさん一生懸命やっていて、今日音楽センターのオーディションとグレードテストがあったんですけど、1 人除いて全員参加で頑張っています。

佐藤・・・JAA の佐藤です。今日はよろしくお願ひします。JAA のメールマガジンを取っている方はご存知かと思いますが、「楽器講座」というのを近じかやる予定がありまして、そのアンケートを今皆さんにお送りして回答をたくさんいただいています。

その回答をもとに講座をつくり、早ければ来週ぐらいから皆さんに申込みいただけるようになります。内容としては V アコーディオンのことをやろうと考えていて、実際の講座の開催は 4 月ですけども、申込を先行で始めますので是非、ホームページなどをチェックしていただければと思います。また、金曜教室の近況は、森先生が復帰されて、毎週レッスンをやっています。

今日のグレード試験は金曜教室から 3 人、僕も参加しました。そういう状況で、午後 5 時から 7 時という早めの時間でやっています。

大田・・・初めて参加させていただきます。よろしくお願ひします。今日、音楽センターでグレード試験がありました。私も審査で参加しました。参加された方お疲れさまでした。個人的には、音楽センターの教室は、数人、オンラインレッスンでやっている感じで後は通ってきて対面でやっています。自宅での個人レッスンも普通にやっています。やっと、ここのところコンサート等の本番もちょっとずつ復帰してきたところで、何とか仕事ができています。

今年の 3 月 9 日に予定していたリサイタルの現地公演は、今はちょっと難しいということで、海外から奏者が来れないということもあって一旦中止になりました。また仕切り直して同じような内容で、そのうちできるようになったらやりたいなというところです。

柴崎・・・大田先生が言われたように、今日音楽センターのグレード試験がありました。こういう時期なのでどの位参加するかなと思っていただけ、いつもとあまり変わらない 20 数名が挑戦し、審査をしました。無事に、無観客で、一気に通してやるっていうことでは新しい試みでしたが上手くいったん

ではないかなと思っています。今年の9月12日は無観客っていうことも意外といけるんだなって今日はちらっと感じました。

あと、9月12日に決ったということで、このように集まり、やる方針で進めるのはいいことかなって松永先生とも今日ちらっと話しました。ここで3歩、4歩進めたらなあと思っております。

築山・・・柴崎先生からも話しがありましたけれども、関東アコの話に進めていきます。3月1日会場取りに行っておき、9月12日の第1候補が取れました。

今年は、昨年できなかった「重奏・バンド/アンサンブル・合奏」ができれば良かったのですが、こういう状況なのでZoom会議が始まってから、できるのあれば「独奏」にしようということで、話してきました。で、審査事務局にも話をして、柴崎先生にも例年通り行うことと、審査員も、新しい方を探しているっていう情報を頂きました。

例年通り5月の連休明けくらいから呼びかけをしつつ参加者を募っていけばいいのっかなって思っていますが、その中で、コロナ禍のための対応もあるので、スタッフをいつも以上に集めないといけないという話はしています。例年通り二通りに分かれて行えるように大ホール、小ホールを借りました。

今日グレード試験のあった音楽センターのように、無観客でやるとか、もしお客さんを呼ぶのであれば、昨年12月、三多摩教室で行ったコンサートのように、客席を決めて、「あなたの席はここだから休憩で出て再度座るときは同じ席に座って下さい」と、席を動かさないっていうか、固定して座ってもらうとか、そういう配慮をしたり、休憩の時間の換気、消毒など、そういう手間が今回は増えるのかなと思っています。

また、先生たちの結果をまとめている時間に、通常ゲスト演奏をお願いしていたけれど、そのゲスト演奏の件も、前回のZoom会議では、ゲストは呼ばない、先生たちの審査も工夫していただくとの意見が出ていました。今日も話ができればと思っています。また、審

査結果発表と講評の仕方もどのようにしたらいいのか。その辺も、みなさんの意見、先生方の考えも聞けたらいいなと思います。

柴崎・・・例えば講評ですけど、皆さん一人一人聞くことができると楽しみにしていると思うんですけども、あれは結構永いですよね。きょう音楽センターで行ったグレード試験は、みんなの前で発表していません。後日発表という形にしました。なるべく人との接点の時間を短くするというのであれば、例えば、ホームページ上で発表いたしますとか、そのかわり先生方には楽譜に書き込んでもらう。当日言葉では伝えられないので、大変ですけど、いつもより丁寧に書いてもらう。そういうやり方もありかなと、きょう聞いていて思いました。

密になって接触する時間を少なくするには、ゲスト演奏をやめるのと同じようにそういうやり方もあるかと思っています。

参加者がどれだけ先生の言葉を直に聞きたいかにもよるんでしょうけれど、音楽センターでも今日は誰からも異論は出ていなかったのでもそれも1つの案かなと思います。

小神・・・賞状はインターネットで送ってもいいですね。というのは、先日JAAの賞状を頂いたんですけども、プリントアウトしてこのように枠に入れると見栄えもよくなるんですね。なので、インターネットで送るのもいいかなと思います。

柴崎・・・私は紙の賞状をもらえるのは嬉しかったですけどね、昔。

乙津・・・おそらく先生方は、多少時間が延びても演奏終了後その場に残って意見をすり合わせして順位を決めることになると思うんです。

その後結果発表・講評・表彰となると、やっぱりその間残っていてもらわなければいけないのと、何人エントリーされるかにもよるけれども、今までのように、次から次へ押し出すように6分程度で進めることは出来ないだろうと思っていて、多少エントリーされる方が減っても、終わりの時間はそれ

ほど早まることはないだろうと考えています。そう考えると今回は、楽譜だとか賞状等は後日事務局から郵送すれば済むので、演奏者には、結果発表、講評、表彰等は当日は行わないでお帰り頂くのが一番いいのかなって思います。

大田・・・関連しますけど、譜面にコメントを書き込んだものをお返りするっていうのは、たぶんその日のうちにできるんじゃないかと思う。書き込みは、ほぼ同時進行で私たちがやっているの、審査の結果を出すのは審査員の中で話し合いをして時間をかけて決めるんですけども、それぞれの審査員のコメントは全員の演奏が終わった後である程度は終わっているものなので、たぶん譜面は大丈夫だと思います。

柴崎・・・全員の演奏が終わったらそこで閉会式にしちゃう。一旦終わって、その後先生方は残って審査の結果を出す。そのときに、後日郵送するのであれば、譜面を送り返すときに一緒に賞状を送ることができる。その形が一番良いのではないかと思います。

織田・・・楽譜は、演奏する人たちもその日の気持ちが高まっているうちに見たいっていう思いはあると思うんですね。

例えば、初級は少ないけれども、中級になると大人数になるので、5人とか10人ぐらいずつ実行委員が集めて、例年最後に楽譜を返すときにテーブルに並べて返すのはどうでしょうか。そうすれば待機している時間が短くなるので、今日の音楽センターのグレード試験でも、みなさん演奏が終わったらパッとしまっただけ帰ってました。5人程度の演奏が終わるくらいの時間であれば待つていられると思うので、5人なり10人なりで集めては並べて返す。その人たちは自分の分を持ってそのまま帰るっていう形もとれる。で、閉会式もなくていいんじゃないかなと私は思っています。

ゲスト演奏を無くしたっていうのは、全員残っていてもいいようにゲスト演奏を無くしたので、その辺、どんどん帰ってもらっ

て、賞状は大事なものなので、後日賞状の出した方には郵送する。あと、講評の方は、先生に書いていただいてニュースとホームページに載せて、それを見ていただくことだと思います。

柴崎・・・楽譜は、私たち楽譜を使って審査するので、一般とか上級の方は申し訳ないけど、後の審査会議で使うので、当日欲しい人は残るしかないですね。ですからその場ですぐに返すのはちょっと難しいかもしれない。可能であれば、お昼ご飯を食べながら私たち審査するから、初級、ジュニア、シニアであれば返せるかもしれない。そのかわり、私たちがお昼を食べながら午後の部が始まるまで待つてもらうことになる。だからまだ全員には返せないかなというのが問題点の1つ。あと、一応、審査事務局で今回のコンクールはどうでしたっていう詳しいことも書くので、先生方一人一人に書いてもらう部分は、それはもう楽譜に書き込む形で、それにプラス今年の担当がいつも通り詳しく書くことでいいという気がしますね。

織田・・・審査に楽譜が使われるっていうのは、そうだなって思いますので、郵送で返すのであれば、最初に楽譜を送っていただくときに、返信用に自分の住所氏名を書いた封筒を同封してもらったらどうだろうか。切手は実行委員会側で貼って送り返す。郵送費はこちらで出すとしても、住所氏名を書いた封筒を一緒に入れ込んでもらうとスムーズに返せるかなと、今話を聞きながら思いました。

築山・・・話は戻り、これからの流れですけど、5月の連休中に毎年募集要項を発送しているので、来月までには事務局で作成して、皆さんに見ていただいて、発送なりホームページで募集する形になると思います。

例年だと募集のメ切は7月31日なので今年は土曜日ですね、その後、当日を迎えるまでの流れの中で何か、緊急事態がまたあった場合は昨年のように再度中止せざるを得なくなるのですが、いまのところは開催する方向で動いていけばいいのかなと思います。

柴崎・・・募集の際に、コロナ対策はしっかりしているよっていうことは書いた方がいいと思います。私の生徒の中でも、オンラインで練習したいという人がいるので、対策はこのようにしているということを書くことで参加してみようかなっていう安心感につながるかなと思います。

あと、今年9月12日ということは、いつもよりちょっと早い感じですよ。だから楽譜があまり遅すぎると予め目を通しておく時間が取れなくなってしまうので、楽譜の提出締め切り日も気を付けた方がいいかなと思います。

塚本・・・例年、楽譜の締切りは本番2週間ぐらい前ですけど、ぎりぎり1週間ぐらい前になってしまうことが多いです。毎回言っていることですけど、ぎりぎりになって訂正をしたいとか、楽譜ができてこないとかで何人かが遅れる。

織田・・・締切りを1週間位早くしてもいいかもしれないですね。

織田・・・楽譜の締切りを8月末にしているので9月に食い込むから、8月末の1週間前にすると、ちょっと遅れる人が8月末までに何とか届くかなというところで、あと、訂正に関してはしょうがないかなという感じもしますよね。本番当日差し換えることになる。ぎりぎりになってから先生と相談してここ変えようっていうことも起きると思うので、

塚本・・・それは実行委員側の問題じゃなくて参加者が先生とよく相談してもらって、早めに出してもらおうことが原則になります。

柴崎・・・今織田さんが言ったように、例年より本番がちょっと早いから、一週間ぐらい早くしてもいいかなって思います。もちろん出場する側のモラルだと思うんですよ。そうなんだけれども、例年よりちょっと早い対応になるけれどもいい経験だと思うし、先生方も、実行委員の皆さんも、今年はちょっと早いからなるべく早く出すんだよって、声掛け

しておくといいかなと思います。

佐藤・・・いま、楽譜の話の流れで、申込とお金の話が出たんですけど、JAAのわくわく広場では、申込をインターネットで受け付けて、お金も、事前に振り込みをして、その振込用紙を添付して応募するというやり方をしました。そのやり方だと、申込の後にお金を振り込むように督促することが無くなるので非常にやり易かった。で、楽譜の問題はそれで解決は出来ないけども、そういうやり方を関東の方でもやるようであればノウハウはあるので協力することはできます。

築山・・・ありがとうございます。

インターネットも分かるんですけど、それができる人が全部だといいたくても、現状はちょっと難しいかなって思います。今後、そういうことを考えていくのは必要なと、佐藤さんの意見を聴いて思いました。

佐々木・・・大体が皆さん期日を守って振り込んでくださいます。

で、先程佐藤将さんが提案してくださったやり方だと、もし私だとそれに対応できないかもしれない。パソコン得意ではないので、そういう形を取り入れたとしても、通常通りの人間が手間暇かけてやる形を残しておいた方がいいなという希望はあります。

織田・・・新しい財政ですけども、このコロナの時期で、参加をどうしようかなと迷っている方が、申込の仕方でも新しい形が増えてくると、その分だけハードルが高くなると思うので、このコロナ関係でどうしても新しくしなければいけないところは変えていく形で、変えなくてもよいところは変えない方が安心して参加しようということにつながるかなと思っています。

佐藤・・・申し込みの方法は、どういう方法なんですか。ファックス、あるいは電話ですか。

小神・・・オンラインとファックス両方あります。オンラインはGoogleのフォームです。8割方オンラインで申し込みが来ています。

あとの集計がとっても楽になります。

佐藤・・・JAA も年輩の方が多いので、やっぱりインターネットの申込みだけじゃダメだなということがあって、郵便局か銀行かで振り込んだものを、インターネットフォームかもしくはファックスで振り込んだ証拠になる証紙を一緒に送って下さいという方法で Xmas フェスタでは受け付けていました。いまの問題を解決しつつやることもできるかもしれないのでよろしければ、ご検討いただければと思います。

築山・・・最近は無くなったけど、ジュニアの場合親が振り込んで、この人だれって財政の担当が困って、申込み書の中に振り込む場合はだれの名前で振り込むのかを記入してもらう欄をつくることでだいぶ解消されました。だけれど、必ず払った証明書も付けてもらうのも、佐藤さんが言うようにあるかなと思いました。

大田・・・応募を受け付けるときに、有観客とか無観客とか、閉会式が無くなるとか、講評が無くなるとかっていうところまで、お知らせはする感じですかね。（そうですね）そこがある程度わかっていた方が、それを踏まえて申し込むか自分で考える材料になると思う気がしますね。

岡田・・・例年募集と同時「仮チラシ」を出しているのので、そこに詳細を載せて、先に告知、やはりコンクールなので、例年と違うという告知はチラシでどンドン皆さんにインプットして行く必要はありますよね。今年はチラシの中身が改めて重要になってくるなって思っています。

織田・・・チラシにコロナ関係での対策をとっていますという漠然とした言葉だけだと、不安は拭い去らないと思うんです。事細かく書く必要はないけれど、観客を収容人数の何割にするとか、ある程度の、それだったら安心して参加できるっていうレベルまでのことをチラシにちゃんと載せていく必要はあるかなって思います。

柴崎・・・それから、やっぱり、その時々で人数とか状況は変わってくるから、随時ホームページを確認くださいっていうことを一言書いておくといいですね。変わったときはホームページに随時アップしてあげると、現状はこうなんだっていうことがわかってもらえると思う。

織田・・・前回私が提案したことですけど、例えば、直前に緊急事態宣言が出て、会場の条件が変わってしまうとアウトになるので、いまの緊急事態宣言の中で滝野川会館で出来ることの条件に合わせて準備しておく、緊急事態宣言が解除されなくても実行できると思うので、今回は一番厳しい条件の中で準備すればあわてたり中止に追い込まれなくて済むのかなと思っています。

築山・・・今回チラシを配布する必要があるのかなってちょっと思ったんですけど、楽器店とかですかね。あと、先生方に託して教室生なりレッスンに来ている人に配布して下さいですかね。

佐藤・・・わくわくの方も、関東にメールだとかホームページにたくさん載せていただいたので、もちろん協力して、やれるかなと思っています。JAA のメールマガジンも会員が 180 人ぐらいいますので結構多くの方に届けることはできます。

築山・・・関東のニュースにも入れればチラシの件は大丈夫ですね。で、二つ目、滝野川会館の使用状況ということでは、昨年 10 月 1 日から滝野川会館で、「施設使用チェックシート」を作っています。守っていただく事項とか、今後陽性者が出たときにすぐ利用した人に連絡できるようにということなどで、そこに記載されていることを守る形で準備していくことになります。

大田・・・それに追加していいですか。会館の方で、例えばホールを使うときに、何時間ごとに換気をしてくださいみたいなお願いが来ていると、その、進行にもかかわってくると思うので、そのあたりも確認しておいた

方がいいと思います。

乙津・・・換気については書類を見ると1時間に2回以上換気を行って下さい。という書き方です。

あと、仮に緊急事態宣言が解除された場合でも会館内での飲食は出来ません。ということは言われました。もし食事をするのであれば地下のレストラン、あるいは外のすり鉢状の階段を使うこととなりますということでした。たとえ雨天の場合でも、楽屋を含めすべての部屋で飲食は出来ませんとのこと。受付で渡されたチラシを読むと、水分補給を除くと書いてあるので、お茶だとかコーヒーだとかを飲むことはOKのようです。

それと、話がずれるけれども、当日聴きに來て下さる方たちにも、例えば、朝出がけに体温を測って何度あったか等チェックしていただく項目がいくつかあるので、私が思うには、聴きに來る方に対して、当日、例えば現金のやり取りだとかチラシの配布だとか、そういうことは極力しないでくださいという書き方なので、聴きに來る方は、ホームページからチェック用紙を予めプリントアウトして、氏名も連絡先も書き込んで持ってくる。それを受付でこちらが受け取れば入場できるようにする。

参加協力券の代金の受け渡しがあるので、それも、先程佐藤将さんが言われたように予め銀行などに振り込んでもらって、その領収書の代わりに出てくる証紙を持って來るチェックシートに添付して受付に出してもらい形が取れば、チケットをつくらなくても済むしお金の受け渡しも無くなると思うので、私はそうできないかなと思っています。

大田・・・いま、通常のコンサートでやっているコロナ対策なので、参考になる部分があると思なので、例えばチケットも、当日券は無し、事前にお客さんに参加協力券を買っていただく形ですけど、事前にも買ってもらった人だけ入れる。で、チケットも作る、作らないの話もありましたけれど、作った場合はその裏面に名前、連絡先を書いてもらう欄をつけて、受付でそれを回収する。そういう形を

とっているところが多いです。

基本的には、当日受付で、演奏者、スタッフ、あとお客さんも検温をその場です。で、もし7度5分以上あったらだめですっていうことも出てくるけれども、みなさんの安心のためには受付をするときに検温を含んでもいいのかなっていう気はします。

築山・・・募集について、あと会館の利用について出てきました。私も、観客も学びあうためのコンクールって、関東アコではずっと言って来ているので、他人の演奏を聴くのも勉強になるのでいいと思うんですけど、どの程度の観客を入れていいかっていうのは滝野川会館で言われましたか。半分とか、

乙津・・・申込用紙には、大ホール200名、小ホール50名と記入して提出したけれども何も言われませんでした。(後日会館に確認したところ定員の50%でした。そうすると、大ホール:250名/小ホール:45名となる)

柴崎・・・事前に申し込むのはすごくいいと思う。一般的に定員の50%でとかが好ましいと言われているので、使えない椅子のところには紙でも張り付けて座らないようなことはやった方がいいと思います。もしそれで、当日オーバーになったらその場でごめんなさいするしかない。それは、昨年12月に聴きに來たのになんで入れてくれないんだって怒った人がいたって、そういうことも聞くから「会場が規制の定員になりましたら、申し訳ないけれどもそこでお断りする可能性が出てきます」ということ1つ明記しておいた方がいいのかなと思います。

岡田・・・例えば、チケットは今までだったら当日券もあったし、何枚以上売らなくてはどちら側の思いもあったけれど、大ホールのキャパで何パーセントっていう数字が出ているんだったらそれを順守するので、大ホール200名って書いて申請したんですよね。ですから200名限定で当日券はなしとか、やはり枚数の限定をきちんと明記して皆さんにお知らせすればいいかなと思います。この状況の中厳しいけれども、当日券は無し

の形で、小ホールは何名でしたっけ。(今回申し込みは 50 名でしています) 過去の例で見ると、通常でも小ホールに 50 入ることはなかったし、大ホールは 200 以上入っているかなと、午後の時間帯は入っていたように思うので、販売枚数のきちんとしたことは決めなくてはいけないなと思います。

柴崎・・・どうして当日券をなしにするのかっていうと、人と人との接点、売り手と買い手の接触を無くすため。だとすると当日券は無い方がいいということと、小神さんの当日券を有にするという意見、そこをどうするかを話し合った方がいいね。

大田・・・多分、当日券があると思っているから当日に来るんだと思います。当日券なしだっというのが事前にわかっていたら、ある程度事前に買う人はいると思うんですね。あと、もう 1 つは当日急にこられる方はその時間帯が、開場から開演までの時間帯に多分ある程度集中すると思うんです。その場合に連絡先を聞いたりとか書いてもらったりとかしている時間が取れるか取れないか、ちょっとわからないですね。で、来る人と、その個人情報把握するっていうことを考えると、当日券の対応がなかなか大変になるっていうことで、当日券は無しにしているところが多いので、人数制限のあるなしというところでの判断だけではないですね。その部分も一応考慮に入れ乍ら考えてもらえればなと思います。

佐々木・・・実際には、ここ何年も当日の人が圧倒的多数ですね。それで、その集中する時間帯って何分でもないの、受付にボランティアスタッフが 5 人、6 人といれば、離れて書いてもらって受付は出来ると思います。そういう意味でも、当日の運営ボランティアさんを沢山欲しいなという気はします。

織田・・・当日券は、例えば私たちチケットをもらって置いて、皆さんに配りますよね。買っていただいた券には自分の名前を書いてお金をもらった印にしていた。その他に、当日持ってきて支払いも当日でいいですよ

って言って渡したものがあつた。要するに券は相手の手元にあつて支払いは当日受付でという人は結構いると思うんです。その他に、全く券も持たずに当日来て受付で買うっていう人の割合っていうのは、今までどの位だったんですか。

佐々木・・・その割合は半々ぐらいですよ。券を持たずに来る人って結構多いです。

織田・・・例えば、銀行みたいに書き込むテーブルをドーンと用意して、チケットをテーブルの上に置いておいて、そこで書き込んだ券を受付に持ってきて対面で支払いをする形をとればだいぶ混雑が解消できるかなと聞きながら思いました。

築山・・・通常、ニュースと一緒に参加協力券を配布しているんですけど、その裏に必ず名前と連絡先を記入して持ってきて、支払いは当日っていう形だったら大丈夫ですかね。

大田・・・今までは当日払いで済ませていたところを、当日も大丈夫なだけけれども、できるだけ事前に支払うっていう方向には持って行ったほうがいいかなと思いますけどね。(そうですね)

柴崎・・・その旨もやっぱり募集要項、チラシに書いておくといい。今回、こういう事情なので結構大きめに。できれば事前にお支払いいただくとう助かる。みたいな感じで。飛び入りはだめって言ったって来ると思うの。そこは対応できるようにしてあげないといけないと思う。

佐々木・・・今回一番大変だなと思ったのは飲食は全て禁止。食事ができるのは地下のレストランだけなんですね。(外の階段も使える、晴れていればね) それはやっぱり周知しておいた方がいいと思うんです。そうすると、やっぱり 1 日ずっといる方も少なくなると思うんです。

大田・・・時間割を決めていただくときに、ご飯を食べながら審査をすることは今までやっていたので、それができなくなるのであ

れば、その時間をある程度確保していただくことになる。

佐々木・・・館内全て食事は禁止です。だから、審査の先生は地下のレストランを予約する形になると思います。

築山・・・話が飛びますけど、審査の先生って例年同様の人数で考えていますか。

柴崎・・・同じです。ゲストを入れて9名です。開催日が決まったので、この会議以降声を掛けていきます。チラシはいつ出すの

織田・・・5月に募集要項と一緒に仮チラシを出しています。で、6月末か7月に本チラシですね。

柴崎・・・じゃあ4月末まででいいですか、これから交渉します。

築山・・・いろいろ煮詰まって来ましたが、もう8時半になってしまいました。関東アコの募集要項とかチラシについては前回の独奏を参考に、事務局ないしは実行委員会で煮詰めて、審査事務局なりに見ていただいて、OKだったら5月に印刷して発送したいと思います。

広告の件で、乙津さん、みなさんからも意見を頂きました。例年通り声を掛けて、出してもいいですよっていうところはあると思うけれども、広告の募集は5月に出場者を募集した後7月頃広告のお願いを出していたので、ちょっとその辺今日は保留にしてもいいですか。少し考えていただくことでどうでしょうか。(はい)

今日は、佐藤将さんからJAAのことで提案があるということなので、時間が残り少ないですけれどもメールを頂いているので、関東アコのことではこれで一旦終わりにして、佐藤さんからのお話に替わっていいでしょうか。(はい)では、佐藤さんお願いします。

佐藤・・・JAAの会議が本日21時からあるので、大田先生も柴崎先生もそちらに出るために55分に3人抜きたいと思いますので、僕の話は簡潔に話したいと思います。

事前に塚本さんがメールを転送してくださったので、主旨はご理解されていると思いますが、この9月12日の関東アコと同じタイミングの9月1日から10月31日の間の予定で、JAAのインターネットわくわく広場が開催を予定しています。

それで、東谷さんから9月12日に関東が決まったよと聞いたときに、「あっ、何か一緒にやれたらいいなあというふうにまず思ったんです。簡単に言うと、両方申込んだら割引になるとか、そういうことが思いついたんですが、そこにこだわってはいなくて、やっぱり、アコーディオンをやっている人たちが一番楽しめる形を、せっかくJAAと関東が両方イベントをやろうとしているので、何かできないかなというふうに思っています。例えば、時期が一緒になっていることで、もしかすると二つがバッティングしてしまって、それぞれの応募が少なくなるのであれば、JAAの時期をちょっと後ろにするとかっていうことも考えてもいいかもしれませんし、さっき応募の問題がありましたけれども、そのときに、みなさん何回も振り込むのが大変であれば両方の応募ができるとか、そうすることで、アコーディオンをやっている人たちが、自分の表現をできる場をたくさん持つということが大事なと思っています。今日は時間もなくて具体的な話は出来ないので、ちょっと僕の気持ちだけ話すと、何かJAAと関東で互いにメリットがあることを今後提案をさせて頂きたい。僕の考えでは、関東の方のメリットというのは、参加者が増える。これが一番のメリットかなと思っています。JAAの方は、もちろんインターネットわくわく広場が盛り上がるということもメリットですけども、僕は「仲間を増やそうプロジェクト」、JAAの会員を増やすプロジェクトのリーダーをやっておりますので、JAAの会員を増やすことにつながっていくことも視野に入れて考えたいと思っています。お互いにメリットがあって、しかもアコーディオンをやっている方たちの、これはいいね、こういう連携ができてよかったっていうものがあればぜひやっ

ていきたいということが今日お伝えしたかったことです。

まだ何もないので、もしよろしければ、具体的な進め方、例えば、また次回の会議でこうやって話すのは大変であれば、担当者を決めていただいて、JAA には僕が話をし、関東にはその担当者と話して頂く、あとはスケジュールの問題です。いつまでには決めないといけないかをお話ができれば取りあえずはいいかなと思っています。きょう突然お時間を頂いて、話したかったことは以上です。

築山・・・以前、関東と JAA のイベントが重なった年ってありましたね。関東の独奏は 1 年おきなんですけど、どうしても JAA の国際コンクールと重なる時があって、お互いに減っちゃうんじゃないかと心配したことがあったけれど、でも、確か関東が先にやって、関東で度胸試しじゃないけれど出て、その曲で JAA の国際コンクールにも挑戦するっていう方が何人かいて、それはそれで両方にとって良かったんじゃないかなって、ただ、関東はどうしても演奏時間の制限があって、その辺で、ちょっと皆さん両方というのは難しかったと思いますけど、佐藤さんがおっしゃったように、今回一緒にできるのであれば、多分出られる方は両方出られると思うんです。なので、その辺で両方あるっていうことを関東のニュースにも載せられるし、ホームページにも載せられるので、アコーディオンをやっている仲間を広げるっていう意味ではみんなで知恵を出し合っていければなと思います。

そうすると、関東の方の、佐藤さんとコンタクトをとる人を決めておいた方がいいですか。(もしよろしければ)

小神・・・まあ、そうですね。私でよければやらせていただきますけど。というのは、佐藤さんの提案はとってもありがたくて、やはり相乗効果っていうことが期待できるんじゃないかと思うんです。で、そのわくわく広場は動画のビデオを配信するわけですよ。会員の間にインターネットを使って配信するんですね。今回の関東アコも皆さんにはま

だ提案してないけれど、私のプランでは、当日の、演奏して審査して発表している様子をライブ配信するというのに取り組んでみたらどうかなって思っているんです。今年は会場に入場制限があるので当日お客さんは 100 人ぐらいしか入れなくても、それ以外の人はライブ配信の URL を配りますから、まあ、例えば 500 円でもいいけれど、申し込んでくださいますか。そういう受付方をして、そのライブ配信を観ていただく。そういう観客層をつくってもいいんじゃないかなと思ったりしています。そんなことで、佐藤将さんと相談したいと実は思っていたところなんです。

大田・・・たぶん、そのライブ配信をするためには、会場がインターネットの早い回線になっていないと綺麗に流れない。とか、結局かなりお金がかかるっていうところはわかっていていいかもしれないですね。録画をとって、それを後日見てもらうっていうのはまだ、たぶんハードルはそんなに高くないと思うけれども、当日のライブ配信っていうのは、聴く側の音質もある程度聴けるものが求められるということもある。

小神・・・今その議論している時間は無いので今後検討していければと思っています。

佐藤・・・今大田先生がおっしゃっていた通りで、Xmas フェスタという JAA のイベントもライブ配信か、インターネット配信かと色々検討したので、是非小神さんとですね。土曜教室の発表会をテストケースでやってみようという話をしているので、研究して、今後のアコーディオン業界の未来のためにできればいいなと思います。

築山・・・そのためにも、では小神さんお願いします。

最後に次回ですけど、4 月の Zoom 会議、先生方の都合はどうでしょうか、5 月の連休中に募集要項を発送しようと思うので、4 月 11 日とか 18 日はいかがでしょうか。小神さんが設定してくださっているので小神さんの都合は、

大田・・・11日と18日、どちらもちょっと都合が悪いですね

柴崎・・・じゃあ、18日私が代表で参加します。(拡大実行委員会は午後7時から始めていますので)

築山・・・では、4月は18日(日)夜7時から9時まで皆さんいいでしょうか(はい)柴崎先生、大田先生、佐藤さん、今日はありがとうございました。このあとJAAの会議もお疲れさまです。拡大実行委員会の皆さんお疲れさまでした。石橋さんとか久しぶりです。お顔が目れてよかったです。川上さん、今日、こんな感じで2時間でしたけれど、14日のときにアコ協に今日の状況を伝えて頂ければと思っています。拡大実行委員会の方も終わりにしますが

乙津・・・最後に、昨年からのニュースは「第32回準備会〇号」と第32回の準備会という位置づけで発行してきましたけれども、第32回は中止になったので、今月の発行から「第33回関東アコ」として発行したいと思っています。第32回は中止ということで、

この年度は空白の年にします。1年間空白ができるけれども回数は詰めないで、今年は33回とします。皆さんがよろしければこれからそうします。

佐々木・・・そうすると、これまで第32回が、ずるずるとそのまま流れていたのが、33回の実行委員としての体制を改めて告知して欲しいと思います。

築山・・・今年は本当にスタッフが多くないと成り立たないので、いまから教室の人とかサークルの人に、岡田さんは早速声を掛けてくださっているんですけど、人がいないとできないってことを皆さん肝に命じて、私も周りにいる人の声を掛けて、手伝ってもらおうと思っています。では終わりにします。みなさんありがとうございました。



よろしく!

当日のボランティアスタッフ大募集!

拡大実行委員会で話し合われているように、今年度は毎年お願いしている要員以外に、コロナウィルス感染対策が加わるので例年以上に多くのスタッフが必要になります。

今後、出場者募集と並行して毎号ニュースやホームページ上でボランティアスタッフの募集を呼びかけて参ります。

是非、スタッフとしての参加もご検討ください、よろしくお願い致します。

